

令和6年度
地域おこし協力隊
活動報告



自己紹介

相馬教道

青森県弘前市出身



前職では群馬県中之条町の地域おこし協力隊として、地元の花を使った「KUNI FLOWERS」というドライフラワーブランドの立ち上げに携わり、主にデザイナーとしてアレンジメントとブランディングを担当。稲敷市ではブランドの展開を見据えたドライフラワー専門ショップを立ち上げ中。



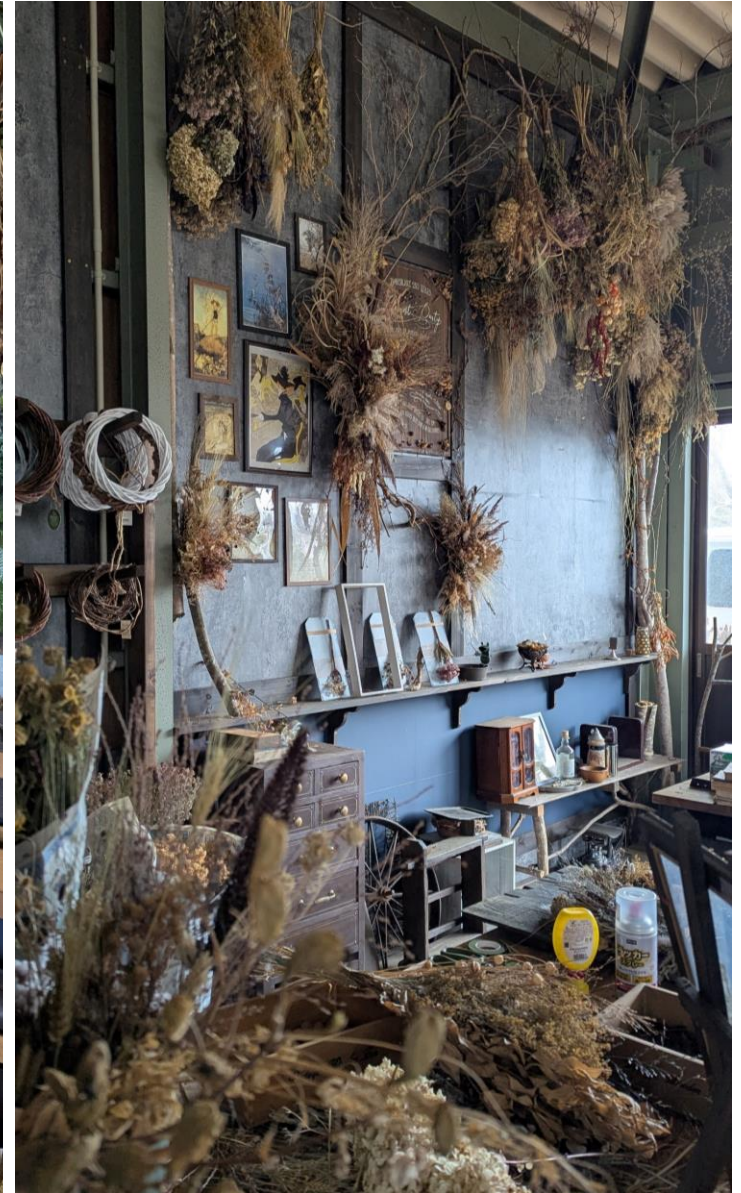


空き店舗の利活用

ウェブサービスの普及に伴う店舗型ビジネスの淘汰が進み、全国的に空き家や空き店舗が増加する昨今において、継続性が見込めるビジネスにはどのようなものがあるか？

ドライフラワー専門の ショップを作っていく

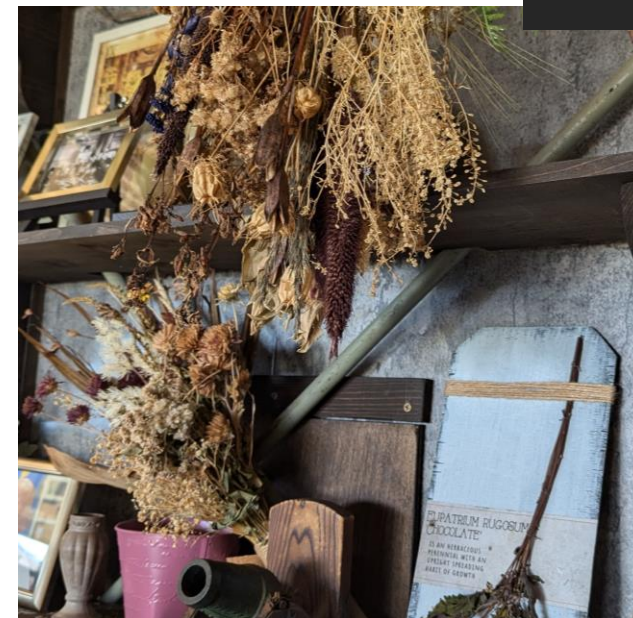
実店舗型ビジネスに合う商材としてドライフラワーを主商材とした専門ショップを開店し、競合が未だ少ない分野への進出と、希少性と専門性の高さを生かした差別化を図りつつ、継続性の高い事業にするために**3つの価値**に重点を置いた空間づくりを進めている。



01

足を運ぶ価値のある 空間づくり

店舗型ビジネスでは実践例が極めて少ないエドワードィアン・スタイルの内装とインテリアを主軸に、店内全域に装花を施したSNSに映える空間を作ること、ドライフラワーへの興味がある無しに関わらず、**一度は足を運んでみたい**と思わせる空間を作る。

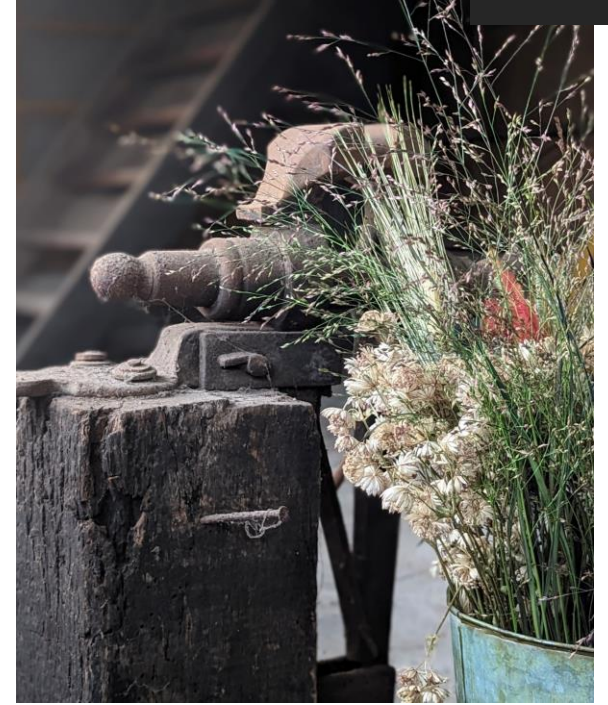


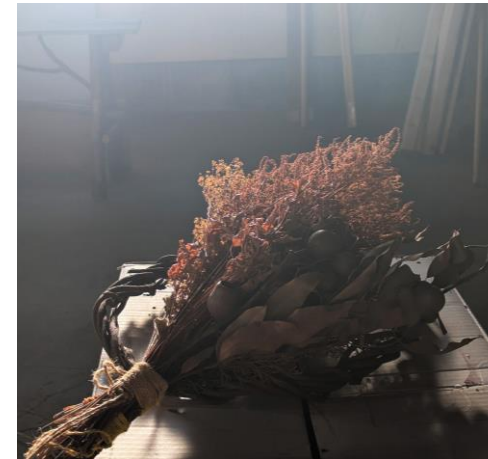


02

商品の魅力を高める 空間づくり

独自性の高い商品の魅力を高めると同時に、アレンジメントの作例や、実際のディスプレイにおける参考になるような組み合わせを提供する、ショーケースとしての役割を果たせる空間を作る。





03

顧客満足度を高める 空間づくり

顧客満足度が高くなるような特別な空間を作ること、ワークショップや講座やナイトラウンジなどのサービスに対する顧客満足度をより一層高め、**ファン**や**リピーター**が生まれるような**環境**を作っていく。



■ 動機を作る

これら3つの価値を通して、足を運ぶ魅力のある珍しいコンテンツを提供し、**稲敷市に足を運んでもらい、稲敷市でお金を使ってもらい、そして日常的に稲敷市に何度でも足を運ぶような動機を作っていく。**

高品質な商品とサービスが溢れている現代日本社会においては、競争に勝ち抜くため「**いかにして（購買/行動）動機を作るか？**」にほぼ全ての比重が置かれているが、これは地域振興においても同様のことが言える。

01. 総合的かつ専門的なショップの確立

オープン予定は令和7年6月。県内で生産されるアロマやハーブティーなど親和性の高いアイテムも取り扱い、総合的な専門ショップとして確立していく。

02. デザイン事務所の立ち上げ

ブランディングを中心事業として、より時代に合ったデザインと広報戦略を提案する、情報発信をビジネスとして成立させるための土台を作る。

03. 新たなブランドの創設

植物系プロダクトを中心に、茨城県発の商品を開発し、全国的な市場において訴求力の高いブランドを作り確立していく。

■ 今後の予定と展望

ショップオープン後からが本番であり、任期終了後からの取り組みが最も重要になるため、良いスタートを切れるように集中して準備していく。



G O O D L U C K

地域振興に携わる全ての方に幸運を